

# 簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変者】

記入例

○「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請書」と一緒にご提出ください。

① 下記にチェック (☑) してください。  
 私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

② 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した者全てについて記入してください。

|   | (フリガナ)<br>氏名   | 左欄の者が<br>扶養する者<br>の数<br>① | 令和4年<br>度住民税<br>課税状況<br>②  | 障害者控除等<br>の適用<br>③  | 収入の減少<br>のあった年<br>月<br>④ | 任意の1か月の収入⑤                    |                        |             | 年間収入<br>見込額<br>D×12<br>⑥ | 非課税相当<br>収入限度額<br>⑦ |
|---|----------------|---------------------------|--|---|--------------------------|-------------------------------|------------------------|-------------|--------------------------|---------------------|
|   |                |                           |  |   |                          | 給与収入<br>[A]                   | 事業収入又は<br>不動産収入<br>[B] | 年金収入<br>[C] |                          |                     |
| 1 | 〇〇 〇〇<br>〇〇 〇〇 | 1<br>人                    | <input checked="" type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和 4年<br>2月              | 収入合計額 A+B+C= [D]<br>110,000 円 | 0 円                    | 110,000 円   | 1,320,000 円              | 1,378,000 円         |
| 2 | 〇〇 〇〇<br>〇〇 〇〇 | 0<br>人                    | <input type="checkbox"/> 課税<br><input checked="" type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和 4年<br>2月              | 収入合計額 A+B+C= [D]<br>0 円       | 0 円                    | 0 円         | 0 円                      | 0 円                 |
| 3 | 〇〇 〇〇<br>〇〇 〇〇 | 1<br>人                    | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告            | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和 4年<br>3月              | 収入合計額 A+B+C= [D]<br>140,000 円 | 140,000 円              | 0 円         | 1,680,000 円              | 1,378,000 円         |
| 2 | 〇〇 〇〇<br>〇〇 〇〇 | 1<br>人                    | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告            | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和 4年<br>月               | 収入合計額 A+B+C= [D]<br>円         | 円                      | 円           | 円                        | 円                   |

記載例① (収入で申請)

記載例② (所得で申請)

- (記入上の注意)
- ① 「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が扶養している親族の数を記入して下さい。(扶養控除等申告書で届け出ている人数)
  - ② 「令和4年度住民税課税状況」欄には、該当する項目にチェック☑してください。
  - ③ 「障害者控除等の適用」欄は、該当する控除を受けている場合には、チェック☑してください。
  - ④ 「収入の減少のあった年月」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和4年1月以降の任意の1か月の年月を記入してください。
  - ⑤ 「任意の1か月の収入」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和4年1月以降の任意の1か月の収入を記入してください。  
 ※令和4年度住民税確定後は、令和3年1月から12月の任意の1か月による申請はできません。令和4年度住民税非課税世帯のうち、本給付金の支給を受けていない世帯については、令和4年度住民税非課税世帯に対する給付として、令和4年6月1日時点で住民登録のある市町村から

|                 |  |
|-----------------|--|
| 給与収入            | ※給与収入がある場合にご記入ください。<br>※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。                             |
| 事業収入又は<br>不動産収入 | ※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。<br>※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。                         |
| 年金収入            | ※公的年金収入(非課税除く)がある場合にご記入ください。<br>※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。 |

- ⑥ 「年間収入見込額」欄には、D欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。
- ⑦ 「非課税相当収入限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当収入限度額を記入してください。  
(早見表)

| 扶養している親族の状況            | 非課税相当収入限度額 |
|------------------------|------------|
| 単身又は扶養親族がいない場合         | 93.0万円     |
| 配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合  | 137.8万円    |
| 配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合 | 168.0万円    |
| 配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合 | 209.7万円    |
| 配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合 | 249.7万円    |
| 障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合    | 204.3万円    |

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

③ 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した全ての者について記入してください。

|   | (フリガナ)                    | 【収入】<br>年間収入見込額<br>⑦ | 【控除】         |               |              | 【所得見込】<br>年間所得見込額<br>⑪ | 【非課税相当額】<br>非課税所得限度額<br>⑫ |
|---|---------------------------|----------------------|--------------|---------------|--------------|------------------------|---------------------------|
|   | 氏名                        |                      | 給与所得控除額<br>⑧ | 事業収入等の経費<br>⑨ | 公的年金等控除<br>⑩ |                        |                           |
| 1 |                           | 円                    | 円            | 円             | 円            | 円                      |                           |
| 2 |                           | 円                    | 円            | 円             | 円            | 円                      |                           |
| 3 | 記載例① (収入で申請する場合、本欄の記入は不要) | 円                    | 円            | 円             | 円            | 円                      |                           |
| 4 | 〇〇 〇〇<br>〇〇 〇〇            | 1,680,000<br>円       |              | 700,000<br>円  |              | 980,000<br>円           | 1,018,000<br>円            |
| 5 | 記載例② (所得で申請)              | 円                    | 円            | 円             | 円            | 円                      |                           |

(記入上の注意)

⑥ 「年間収入見込額」欄には、表面の年間収入見込額(⑥欄)の額を転記して下さい。

⑧ 「給与所得控除額」欄には、以下の算定式により控除額を計算の上、ご記入ください。

- ① Aの額のうち給与収入分が162.5万円以下 → 55万円
- ② Aの額のうち給与収入分が162.5万円超180万円以下 → 給与収入分×40% - 10万円
- ③ Aの額のうち給与収入分が180万円超360万円以下 → 給与収入分×30% + 8万円
- ④ Aの額のうち給与収入分が360万円超660万円以下 → 給与収入分×20% + 44万円

⑨ 「事業収入等の経費」

- ① 事業収入又は不動産収入を記入した方は、当該収入のために要した経費の12か月相当額をご記入ください
- ② 帳簿等の上記の経費がわかる書類をご提出ください。

⑩ 「公的年金等控除」の欄には、以下の算定式により控除額を計算の上、ご記入ください。

- (65歳未満の方) 公的年金等収入分 → 控除額
  - : 60万円以下 → 公的年金等収入分の全額
  - : 60万円超130万円未満 → 60万円
  - : 130万円以上410万円未満 → 公的年金等収入分×0.25 + 27万5千円
  - : 410万円以上770万円未満 → 公的年金等収入分×0.15 + 68万5千円
- (65歳以上の方) 公的年金等収入分 → 控除額
  - : 110万円以下 → 公的年金等収入分の全額
  - : 110万円超330万円未満 → 110万円
  - : 330万円以上410万円未満 → 公的年金等収入分×0.25 + 27万5千円
  - : 410万円以上770万円未満 → 公的年金等収入分×0.15 + 68万5千円

⑪ 「年間所得見込額」の欄には、以下の算定式により計算の上、ご記入ください。

⑤年間所得見込額 = ⑥年間収入見込額 - ( ⑧給与所得控除額 + ⑨事業収入等の経費 + ⑩公的年金等控除 )

⑫ 「非課税所得限度額」には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当所得限度額を記入してください。

※限度額は下の早見表から、①欄の「左欄の者が扶養する者の数」に応じた状況に対応する欄の金額を記入してください。

※下表の「扶養している親族の状況」は、「申請者本人」「同一生計配偶者(所得金額48万円以下の者)」「扶養親族(16歳未満の者も含む)」の合計人数です。

〈早見表〉

| 扶養している親族の状況            | 非課税相当所得限度額 |
|------------------------|------------|
| 単身又は扶養親族がない場合          | 38.0万円     |
| 配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合  | 82.8万円     |
| 配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合 | 110.8万円    |
| 配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合 | 138.8万円    |
| 配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合 | 166.8万円    |
| 障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合    | 135.0万円    |

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

# 記入要領の例

【1】収入の減少がコロナウイルス感染症の影響である場合✓を記入して下さい。収入の減少がコロナウイルス感染症の影響ではない場合、本給付金の対象とはなりません。

【2】申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記載した全ての方の状況を記載して下さい。

【3】この方が扶養する人数を(扶養控除等申告書等に)記載の人数を記載し、【4】下表から、この人数に対応する区分の非課税相当収入限度額を確認し、【5】この額を⑦欄に記入して下さい。  
【6】非課税相当額収入限度額(⑦欄)と年間収入見込額(⑥欄)を比較して、⑥欄のほうが低ければ支給対象(2枚目は記載不要)

【7】記載例②の場合、非課税相当額収入限度額(⑦欄)と年間収入見込額(⑥欄)を比較して、⑥欄のほうが高いため、所得による申請(2枚目を記入)

別紙

## 簡易な収入(所得)見込額の申立書 【家計急変者】

① 「住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金申請書」と一緒にご提出ください。

① 下記にチェック(☑)してください。

私の世帯は、新型コロナウイルス感染症の影響により、収入が減少しました。

② 申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した者全てについて記入してください。

| 氏名<br>(フリガナ) | 左欄の者が扶養する者の数<br>(3) | 令和4年度住民税課税状況<br>(2)   | 障害者控除等の適用<br>(3)  | 収入の減少のあった年月<br>(4) | 任意の1か月の収入⑤       |                    |             | 年間収入見込額<br>D×12<br>(6) | 非課税相当収入限度額<br>(7) |
|--------------|---------------------|---|---|--------------------|------------------|--------------------|-------------|------------------------|-------------------|
|              |                     |   |   |                    | 給与収入<br>[A]      | 事業収入又は不動産収入<br>[B] | 年金収入<br>[C] |                        |                   |
| 1            | 1人                  | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年<br>月          | 収入合計額 A+B+C= [D] | 円                  | 円           | 円                      | 円                 |
| 2            | 1人                  | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年<br>月          | 収入合計額 A+B+C= [D] | 円                  | 円           | 円                      | 円                 |
| 3            | 1人                  | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年<br>月          | 収入合計額 A+B+C= [D] | 円                  | 円           | 円                      | 円                 |
| 4            | 1人                  | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年<br>月          | 収入合計額 A+B+C= [D] | 円                  | 円           | 円                      | 円                 |
| 5            | 1人                  | <input type="checkbox"/> 課税<br><input type="checkbox"/> 非課税<br><input type="checkbox"/> 未申告 | <input type="checkbox"/> 障害者控除<br><input type="checkbox"/> 寡婦(夫)控除<br><input type="checkbox"/> ひとり親控除 | 令和4年<br>月          | 収入合計額 A+B+C= [D] | 円                  | 円           | 円                      | 円                 |

(記入上の注意)

- 「左欄の者が扶養する者の数」欄には、同居・別居にかかわらず、左欄の者が扶養している親族の数を記入して下さい。(扶養控除等申告書で届け出ている人数)
- 「令和4年度住民税課税状況」欄には、該当する項目にチェック☑してください。
- 「障害者控除等の適用」欄は、該当する控除を受けている場合には、チェック☑してください。
- 「収入の減少のあった年月」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和4年1月以降の任意の1か月の年月を記入して下さい。
- 「任意の1か月の収入」欄には、住民税非課税相当の収入であった、令和4年1月以降の任意の1か月の収入を記入して下さい。  
※令和4年度住民税確定後は、令和3年1月から12月の任意の1か月による申請はできません。令和4年度住民税非課税世帯のうち、本給付金の支給を受けていない世帯については、令和4年度住民税非課税世帯に対する給付として、令和4年6月1日時点で住民登録のある市町村から

|             |  |
|-------------|--|
| 給与収入        | ※給与収入がある場合にご記入ください。<br>※給与明細書などの収入額が分かる書類をご提出ください。                             |
| 事業収入又は不動産収入 | ※事業収入又は不動産収入がある場合にご記入ください。<br>※帳簿などの収入額が分かる書類をご提出ください。                         |
| 年金収入        | ※公的年金収入(非課税除く)がある場合にご記入ください。<br>※年金決定通知書、年金額改定通知書、年金振込通知書などの支給額がわかる書類をご提出ください。 |

⑥ 「年間収入見込額」欄には、D欄(収入合計額)を12倍した金額を記入してください。

⑦ 「非課税相当収入限度額」欄には、①欄の人数に応じて、下表から該当する非課税相当収入限度額を記入してください。(早見表)

| 扶養している親族の状況            | 非課税相当収入限度額 |
|------------------------|------------|
| 単身又は扶養親族がない場合          | 93.0万円     |
| 配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合  | 137.8万円    |
| 配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合 | 168.0万円    |
| 配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合 | 209.7万円    |
| 配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合 | 249.7万円    |
| 障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合    | 204.3万円    |

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

～ 所得により申請する場合は、引き続き、裏面を記入してください ～

【一】収入により申請する場合は記入不要

【8】⑦欄の年間収入見込額を転記してください

【9】各欄に該当する控除額を記入して下さい

【10】下表の非課税限度額早見表から、扶養人数に応じて、該当する金額を記入してください。

【11】年間所得見込額を計算してください  
 年間所得見込額＝  
 収入額－(⑧給与所得控除額＋⑨事業収入等の経費＋⑩公的年金控除)

⑪の額が⑫の額を下回れば支給対象となります。

③ 年間所得により申し立てる場合、申請書の「2. 申請者が属する世帯の状況」に記入した全ての者について記入してください。

|   | (フリガナ)<br>氏名 | 【収入】         | 【控除】         |               |              | 【所得見込】       | 【非課税相当額】    |
|---|--------------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------|-------------|
|   |              | 年間収入見込額<br>⑥ | 給与所得控除額<br>⑧ | 事業収入等の経費<br>⑨ | 公的年金等控除<br>⑩ | 年間所得見込額<br>⑪ | 非課税限度額<br>⑫ |
| 1 | 【一】          |              |              |               |              |              |             |
| 2 |              |              |              |               |              |              |             |
| 3 |              | 【8】          |              |               |              | 【11】         |             |
| 4 |              |              |              | 【9】           |              |              |             |
| 5 |              |              |              |               |              |              |             |

| 家族構成例                  | 非課税相当所得限度額 |
|------------------------|------------|
| 単身又は扶養親族がない場合          | 45.0万円     |
| 配偶者・扶養親族(1名)を扶養している場合  | 101.0万円    |
| 配偶者・扶養親族(計2名)を扶養している場合 | 136.0万円    |
| 配偶者・扶養親族(計3名)を扶養している場合 | 171.0万円    |
| 配偶者・扶養親族(計4名)を扶養している場合 | 206.0万円    |
| 障害者、未成年者、寡婦、ひとり親の場合    | 135.0万円    |